



Cyclo-crossチーム結成について

企画書 2016/4/5

チーム発足の目的

- 遠征やピットクルーなどサポート体制の確立
- 茨城シクロクロスシリーズの広報活動の一環として
- ジュニア選手の発掘および育成
- 運営や審判業務の知識や経験の共有

遠征班やピットクルー体制の確立

- 遠距離遠征における疲労軽減

運転を交代することで疲労を軽減することが可能となる
遠征費用を抑えることで、多くの大会に参加可能となる

- ピットクルーの確保

パンクその他の機材トラブルに対処するために不可欠である
特に大きな大会では順位を大きく左右することになる

- メカニックや監督の果たす役割

メカニックの存在はストレスの軽減となり、レースにより集中できる
監督など第三者からのアドバイスは選手にとってよい励みになる
前後の選手の状況を知ることはレース展開に大きく関与する

茨城シクロクロスシリーズの広報活動の一環として

- ・ 茨城シクロクロスシリーズの広報活動として

- 選手が当チームのジャージを着用し、良いパフォーマンスを発揮することにより、当シリーズ戦のPRとなる
- チームメリットを求めて、ジュニア選手が集まる
- ボランティア活動（運営やピット作業）に興味のある方が手を上げやすくなる

ジュニア選手の発掘・育成

・潜在しているジュニアの発掘

機材にお金がかかる

遠征にお金がかかる

近隣にCXに取り組む選手がいない

など

興味はあるもののどのように取り組んでよいかわからない



興味を持っているジュニアの顕在化→金銭面を中心にサポート



世界に羽ばたく選手の輩出

運営・審判業務の知識や経験の共有

・運営・審判業務レベルの向上

選手育成には高レベルの運営・ジャッジが必要であることから、その経験の場を提供する

大会を永続的に開催するためには地域に根差したスタッフの確保が必須である



選手の育成と同時に審判や運営スタッフの育成も必要

チーム加入によるメリット・デメリット

・メリット

地域やショップに左右されない活動が可能となる

遠征費・機材費などの経済負担の軽減

ピットクルーやメカニックなどのサポートスタッフの確保

レース外、レース中の精神的な負担の軽減

運営・審判のノウハウとスキルの獲得

レース運営チームに加盟することにより、より多くの方々と知り合いになることができる。

・デメリット

個人参加の手軽さ・身軽さなどの自由が奪われる

チーム加入の条件

- ・紳士的な態度ふるまいができること
- ・遠征その他チームとしての活動すべてにおいて発生する費用の負担ができること
 - ※ジュニア選手は遠征費全額補助
- ・自己責任で行動できること（未成年者は保護者同意が必要）
- ・チーム員間・チームオーナーに対して、本人並びに家族（親族）はいかなる場合も損害賠償請求をしないことに同意していること
- ・J C F 競技者登録してあること（選手のみ） 予定でも可
- ・J C F 審判登録 3 級以上してあること（運営・審判のみの方） 予定でも可
- ・自転車保険（加害・被害）に加盟していること（J C F 登録に付帯）
- ・年間3ポイント以上獲得を目標とすること

チームメンバー評価表

- シーズン開幕から閉幕の間にポイントを獲得し、累積ポイント3以上になるように各自で計画を立てる
- 年間得点獲得数に応じて報奨金を贈呈する
- U18以下の選手が昇格もしくは表彰台の場合バイク購入費用を補助する（1シーズン1度とする）
- U18以下の選手が遠征に行く際は全額チーム負担とする
- 設営および運営は半日につき1,000円（予定）を別に支給する
- その他の項目については随時協議するものとする
- 評価表は毎シーズン見直すこととする

項目	point
昇格	5
表彰台	4
シングルフィニッシュ	0.3
設営	0.7
運営	0.7
ピットクルー	0.25
練習会参加	0.5
AJOCCLレース参加	0.5

おもな遠征先

- ・湘南 開成
- ・宇都宮 みずほの森
- ・宇都宮 ロマンチック村（全日本選手権）
- ・前橋 岩神緑地
- ・東北 猪苗代
- ・東北 いわき
- ・千葉 スターライト
- ・東京 お台場
- ・茨城 取手
- ・茨城 土浦
- ・茨城 ふれあいの里
- ・茨城 七会中学校

連絡先

- 茨城シクロクロス城里事務局

事務局長 田 辺 隆 文

peugeotclub@yahoo.co.jp

参考

www.facebook.com/ibarakicxshirosato/

www.ibarakicx.com

www.ibarakicxshirosato